|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **障害状況確認シート**  **※不明点は空欄で結構です** | | | | | 氏名 | | 出村　和彦　様 | | |
| 2024年3月29日 | | | | 現在 |
| **障害状況** | | | | | | | | | |
| 診断名 | 広汎性発達障害/ADHD/ADD/ASD/LD | 手帳取得年月 | 種類 | 精神 | | 等級 | | ３級 | |
| 2023年3月 | 種類 |  | | 等級 | |  | |
| 手帳 | 【手帳取得理由】  【障害があることについてどう感じているか】  【障害者枠で働こうと思っている理由】 | | | | | | | | |
| 現状 | ■企業に伝えたい障害特性  ＜得意なこと＞  ＜苦手なこと⇒具体的な対処法＞  ex)曖昧な表現の理解をすること⇒説明時はメモを取ったり、分からない点は都度確認をする  　 優先順位を付けること⇒優先順位が分からない場合は確認をする  ■主治医からの意見  【医師からの就業許可の有無とその範囲】  【医師からの助言】  ■現在の勤務状況  【現在の勤務日数・時間】　週●日　●●:●●～●●：●●  ※離職中の方は就労移行支援事業所や職業訓練、リワークなど決まった曜日・時間で通っているものがあればそちらについて記載ください。  【直近1年の勤怠状況に関して特記事項（休職や欠勤など）】 | | | | | | | | |
| 配慮 | 【ご希望の勤務日数・時間】　週●日　1日●時間  【希望する配慮】  【障害の周知内容と範囲の希望】  クローズ・精神障害があることまで・障害名まで・採用試験での全情報・会社の方針に従います  【障害の周知範囲の希望】  クローズ・上司まで・同僚まで・会社の方針に従います | | | | | | | | |
| 病院/支援機関 | **■通院先**  通院先名称：  通院頻度・曜日：年/月/週に●回　（●曜日）  通院時間帯：午前/午後/夕方/時間帯は決まっていない  通院に対する勤務時間および休暇配慮の有無（有の場合は内容も記載）：有/無  **■支援機関登録　※支援機関とは？⇒別添資料をご参考ください**   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 〇※ | 区分 | 登録先名称 | 定着支援の有無 | |  | 就労支援センター |  | (有・無・不明) | |  | 障害者就業・生活支援センター |  | (有・無・不明) | |  | 就労移行支援事業所 |  | (有・無・不明) | |  | 不明/その他 |  | (有・無・不明) |   ※上記の当てはまるものに〇をご記入ください  就職後に定着支援を希望するか：する/しない/会社の方針に従います  支援機関の支援者からの助言：  **■就労移行支援事業所の通所中の方**  通所期間：  現在の通所状況：週●日　●●:●●～●●：●●  直近3ヶ月の通所率：●％(通所期間が3ヶ月に満たない場合は通所期間についてお答えください。) | | | | | | | | |
| 経緯 | 【診断を受けた時期、きっかけ、結果】  ●●年●月  【治療内容】  【診断を受けた後～現在まで】 | | | | | | | | |
| 二次  障害 | 二次障害（診断名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ※発達障害に起因する困難によるストレスが原因で発症した発達障害とは別の疾患（うつ病、双極性障害など）のことを二次障害と言います。  **■現状**  【現在の症状】  【現在の体調を保つ or 改善させるためのポイント】できるだけ具体的にご記載ください。  ex) 生活リズムの維持(睡眠時間●時間以上)、相談相手の確保、治療を通して考え方の変化があったためそれを維持する、  体調を日々モニタリングし客観的に振り返る　など  【体調悪化につながるポイント】  ex) 感情的な叱責、●時間以上の残業、対人折衝が多い業務を任せられること、相談できない状況が続くこと　など  【体調悪化のサイン】  【悪化しはじめた時にさらに悪化させないための対処方法】  【二次障害について希望する配慮】※発達障害の配慮と重なる場合は記載不要  **■経緯**  【発症した時期・要因】  【（発症時以外で）症状が悪化した時期・要因】  【症状改善の時期・要因】 | | | | | | | | |

|  |
| --- |
| **支援機関・定着支援に関するご説明** |
| **【支援機関とは】**  □ 障害者の就労をサポートする機関  □ 国や自治体の施策として各地域に設置されている  □ 行政または行政から受託したNPO法人や社会福祉法人が運営している  □ 就労に関わる様々なサービスごとに窓口が異なる  ex)就職活動支援、就職準備訓練、定着支援、生活支援など  **【支援機関の役割と分類】**   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | **名称** | **就職活動** | **訓練** | **定着支援** | **生活支援** | **費用** | **備考** | | **就労支援センター** | △ | × | ○(無期) | × | 無料 | 市区町村から受託したNPO法人または社会福祉法人が運営することが多い。主に就職・就業に関する相談を受け付ける。 | | **障害者就業・生活支援**  **センター** | △ | × | ○(無期) | ○ | 無料 | 県から受託したNPO法人または社会福祉法人が運営することが多い。就業に関する相談の他、生活に関する相談もできる。 | | **就労移行支援事業所** | △ | ○ | ○(3年)※ | △ | 自治体の  基準による | 「訓練」で自己理解を深めつつ、就業に必要な訓練を行う。PCスキル等の職業能力の訓練を行う事業所も多い。 |   ※就労移行支援事業所の定着支援は訓練を受けている方に限り実施されます。  **【定着支援とは※】**  □ 受け入れ企業に対して雇用管理に関する相談を受け付けて、助言や提案を行う  □ 就業者に対しては就業後の業務や環境、体調に関する相談を受け付ける  □ 就業者と受け入れ企業の双方とコンタクトを取ることができるところに特徴がある  　上記のような取り組みの中で、就業者本人に工夫を促したり受け入れ企業に対して業務調整を依頼したりする等、双方の意見を取り入れた提案をすることで、就業者がより長く働きやすい環境を作るためのお手伝いを定着支援と呼びます。  ※各施設によってサービス内容は若干異なります。 |